

東山横断歩道橋の取り扱いに関する協議会（第2回）議事録

日時：令和6年12月12日（木）

場所：南平岸まちづくりセンター

出席者：地域の方：6人、学校関係者：2人、警察関係者：1人、札幌市10人

1 開会の挨拶

（建設局総務部道路管理課）

- ・第1回目の協議会を7月18日に開催し、東山横断歩道橋の現況について説明し、この横断歩道橋を「存続させる」のか「撤去の方向」で進めていくのか、皆様のご意見をお伺いした。
- ・本日は、第1回目の協議会終了後、HP等を活用し、日ごろ東山横断歩道橋を利用されている方々から広く意見を募集したので、寄せられた意見の内容やその分析結果などについて説明をさせていただく。
- ・これらの意見を踏まえ、本日の協議会で改めて議論いただき、東山横断歩道橋を「存続させる」のか「撤去の方向」で進めていくのか、今回の協議会で合意が図れればと考えているところ。
- ・是非とも活発な議論をお願いしたい。

2 市民意見等について

（建設局総務部道路管理課）

- ・今回、札幌市HPへの掲載のほか、横断歩道橋の北側、南側の階段踊り場と柱、合計4カ所にチラシを掲示し意見を募集した。
- ・また、横断歩道橋近隣の平岸東山町内会、ドエルさっぽろ町内会、平岸四区あゆみ町内会、平岸みずほ町内会、平岸第一あゆみ町内会、平岸千鳥町内会、平岸坂下町内会、南平岸中央町内会、南平岸駅前町内会、南平岸第八町内会に回覧に協力いただき、東山小学校、平岸小学校にも資料の掲示等協力をいただいたところ。
- ・町内会、小学校、豊平警察署、また個別に寄せられた意見等あるか。

(1)町内会に寄せられた意見：特になし

(2)小学校に寄せられた意見：特になし

(3)その他個別意見

（南平岸地区交通安全母の会）

- ・近くの児童会館を利用しているお母さんたちに東山横断歩道橋を使っているか伺ったが、ほとんどの方が使っていないとのこと。子供を連れて上り下りが大変なので使わないという方が多かった。
- ・区役所に行くときも見ていたが、日中利用している方はほぼ見当たらなかった。

(4)市民意見の募集結果（資料1）

（建設局総務部道路管理課）

- ・資料1により12件の意見を紹介。
- ・円グラフが描かれたA4の資料はご意見いただいた方の意見割合を表しており、58%、約6割の方が撤去は止むを得ないとご意見いただいております、そのうち2割の方は撤去に賛成、4割の方は条件付きではあるけれど撤去はやむを得ないと感じていることがうかがえる。
- ・下のグラフは、利用者の関心度を表すことが出来ないかと思い、作成したもので、令和4年10月に行った調査結果の大人利用者157人が往復利用したと仮定して、1日に79人が使用し、そのうち今回ご意見いただいた方が12人、こちらに意見を伝えることはしなかった方々の数を67人と仮定したものです。
- ・全体の85%は東山横断歩道橋に特段の思いがなく、意見をするまでには及ばないと考え、意見をいただいた9%の方が撤去は止むを得ないと考えており、意見をいただいた6%の方は存続を求めているという、地域の全体像がうかがえる。
- ・第1回協議会にて意見をいただいたが、今回の意見募集でも信号機の待ち時間が長いという意見を受け、今回現地で東側60mにあるセブンイレブン前の定周期式信号機、西側130mにあるローソン前の押ボタン式信号機の待ち時間等について確認した。
- ・セブンイレブン前の定周期式信号機の赤信号の待ち時間は1分50秒程度、青信号が40秒間である。参考まで南4西3すすきの交差点の待ち時間は1分30秒程度、青信号が40秒間、市役所のある北1西1の国道12号線の交差点の待ち時間は1分10秒程度、青信号が50秒間となっており、セブンイレブン前の定周期式信号機は他の信号機と比べ待ち時間が長い状況。
- ・一方でローソン前の押ボタン式信号機は、白い押しボタン（高齢者等感応信号機）は押してから40秒後に青信号となり、青信号が1分30秒間、黄色い押しボタンは押してから30秒後に青信号となり、青信号が40秒間となっており、セブンイレブン前と比べ意外と待ち時間が少ない状況。
- ・この信号機の周期については、前回協議会でも北海道警察より検討は可能とお話しをいただいているところ。
- ・横断歩道を設置する場合、環状通は交通量が多いことから横断歩道への信号機の設置は必置と思われる。
- ・北海道警察の信号機の設置間隔の基準として150m以内に信号機付きの横断歩道は設置出来ないことから、今回の東山横断歩道橋の周辺状況から横断歩道の設置は不可であると伺っている。
- ・以上、信号機の周期と、横断歩道の設置について北海道警察にも改めてご意見をいただきたい。

（北海道警察）

- ・横断歩道や信号機の設置についての基準はあるが、交通安全上危険であるとか特段の事情が認められる場合、設置は不可能ではないことを先に申し上げる。

- ・前回の会議と内容は変わらないが、もし撤去となった場合、市民の要望や交通上の支障、具体的な危険性、事故の発生状況等を総合的に判断し、規制手段を検討していくことになる。豊平警察署だけではなく警察本部と連携して行うこととなっており、警察本部交通規制課と調整を図りながら豊平警察署として検討してまいる。
- ・警察の立場としては歩道橋さえあればそこで交通事故が起こることはない、安心という思いはあるが、その一方で地域づくりを進めて行く上で、コストを削減していくことは、札幌市にとっても市民の方々にとっても大事なことだと思っている。
- ・警察としては存続、撤去どちらになったとしてもその決定に基づいて必要な検討をしてまいりたい。

3 撤去、存続に関する意見交換

(建設局総務部道路管理課)

- ・意見交換に入る前に、もし横断歩道橋が撤去された場合の交通安全対策について資料2により説明。

(南平岸地区町内会連合会)

- ・丁寧にアンケートを取り作成された資料からも、大方の人は方向性を理解しているのだろうと感じてはいるが、反対の声というのもあるのでその声をどうするか。
- ・横断歩道については、平岸第二町内会にある横断歩道は押せばすぐ変わるが、他の信号機は近くの信号機と連動しており、主となる信号が変わらないと他の信号も変わらない。
- ・セブンイレブン前の信号についても、短い時間で変わるようになれば利用しやすくなると思うので、そこは今後の改善点としてあげさせていただく。
- ・乱横断が良いわけではないが、本来であれば運転手が気を配らないといけないことであり、歩行者の安全を守るためには運転手側への教育が大事ではないか。
- ・まとめの方向に来ているが、横断歩道の時間の改善を図れば大方の人は、納得いただけるのではないか。

(平岸地区町内会連合会)

- ・市としてはどのような方向性をお考えか伺いたい。

(建設局総務部道路管理課)

- ・決まってないというのが現状であるが、撤去・存続どちらかにウエイトを置くということであれば、撤去することが出来ないかというところからスタートはしている。
- ・絶対に撤去かと問われるとそうではなく、例えば全員が反対した場合に撤去を進められるのかというそれはまた別の問題であると思っている。
- ・気持ちとしてはフラットであり、まだ具体的に前に進んでいる訳ではないが、撤去出来ないかと考えているのは事実である。

- ・繰り返しになるが、まだ何も決まっていないうことなので、関係する方に意見をいただいで、この協議会で方向性を打ち出し、その方向に向けて進んでいければと考えている。
- ・先ほどのアンケートで示されたとおり、使っている方、使っていない方で意見が分かれてしまう。使っている方にとっては、今使っているものがなくなれば利便性が損なわれるのは間違いない。
- ・全員が撤去して良いということをお当然想像はしていなかったが、道路を管理する立場として問題視しているのは、横断歩道橋の橋脚であり、管理上も安全上も望ましい状態とは言えない。
- ・利用者もあまり多くないという状況もあるので、道路管理者として撤去出来ないかと考えていたところ。
- ・撤去と存続は相反することなので、どちらかに決めるのはなかなか難しいところではあるが、どちらかの方向性は打ち出したいと考えており、忌憚のないご意見をいただきたい。

(南平岸第八町内会)

- ・例えばアンケート等をいつまでも取っていても、いつまでも会合していても答えが出るものではないと思う。
- ・市の方である程度のところで区切りをつけていかないと始末が付かないと思う。
- ・意見を見ても、両方の意見とも間違っていない。しかし、その意見を全て聞いていたら撤去出来ないのではないかと。

(建設局総務部道路管理課)

- ・札幌市としては撤去出来ないかという方向で考えている。ただ地域の方から撤去は絶対駄目だという意見が多ければその意見を超えて、行政として撤去することは出来ない。
- ・一方で利用実態とコストの面を考えると見合いが付かない状況であるのが実態であることから、撤去後にどのような安全対策を取れるのか警察、地域を含めて検討し良い形で実現できないかと考えている。
- ・意見をまとめた資料の数字を見ても関心ない方が相当数いらっしゃる。推測ではあるが、横断歩道橋が無くなっても問題ないという考えの方が多数ではないかと思われる。
- ・皆さんの合意が得られるのであれば、市の方向性としては撤去の方向性で進めて行きたいと考えている。

(平岸地区町内会連合会)

- ・ロードヒーティングの電気代 120 万円など、年間 1 橋あたりの維持管理費 300 万円、これだけあれば横断歩道橋の部分の安全対策にも使えるので、個人的には撤去した方が良いのではないかと思う。

(建設局総務部道路管理課)

- ・撤去することで今までの維持管理費は使われなくなる。乱横断や除雪への対応など、撤去した後の状況を見つつ、安全対策が必要であれば追加で防護柵設置や、除雪等、横断歩道橋が無くなることで、より歩道を幅広く安全に通行出来るよう対策を検討することが出来る。

(平岸地区町内会連合会)

- ・撤去した後について、シミュレーションなどしているのか。

(建設局総務部道路管理課)

- ・撤去後の状況を見ないと分からない部分もあるが、資料でお示ししたとおり、例えば地域で啓発活動をしていただく、地域、札幌市、警察が連携して状況確認を行い、安全対策を検討していくなど、一步踏み込んだ形で、段階的に進めて参りたい。
- ・平岸四区あゆみ町内会、ドエルさっぽろ町内会からもご意見いただきたい。

(平岸四区あゆみ町内会)

- ・最近は親子連れなど結構利用されている。
- ・信号を横断するには信号を待って横断しないと、途中からだと走ってもちょっと間に合わない。
- ・ただ、信号が変わってしまうと2分は待たなければならないので、今の横断歩道橋があれば待たなくてよいから便利であるとは思う。
- ・信号の待ち時間を変えるというお話があったが、東山小学校の南から抜けてくる車が多く、信号の待ち時間が短くなると環状通に出る車が溜まってしまい、無理して黄色で環状通に入ってくる車も増えるので、信号のパターンを変えるともまずいのではないかとも思う。
- ・当町内会は環状通で半分に分かれており、横断歩道橋は町内会の足になっており、町内会としては残していただくと有り難いとは思う。
- ・ただ、市の方向性として他の横断歩道橋も撤去しており、我慢しなければならないのかなという部分も感じている。
- ・アンケート資料のグラフの薄い青が何となく撤去というように見えるが、どちらかという意見としては撤去しない方がよいと捉えられる。そこも踏まえて検討していただきたいなと感じたところ。

(ドエルさっぽろ町内会)

- ・町内会としては、利用することはあまりないと思う。
- ・撤去という事に決まるのであれば、信号や横断歩道などの安全性を確保できるのであれば撤去については止むを得ないのではないか。

(東山平岸小学校)

- ・セブンイレブン前の横断歩道は通学路として指定されているところ。

- ・地下鉄沿いの横の道路が車の抜け道になっており、柱のせいで見通しが悪く危険であると感じていた。
- ・横断歩道橋がなくなれば見通しが良くなり、歩行者の安全も確保されるので個人的には撤去した方が良いのではないかと思う。

(建設局総務部道路管理課)

- ・方向性をパンと打ち出せないところも、事柄の難しさを象徴しているが、どちらかの方向を向いた形で、具体的に何が出来るのか検討をしていきたいと考えている。
- ・アンケートの取り方や見せ方、捉え方の違いは当然出てくると思うが、アンケートや協議会でいただいたご意見から、札幌市の見方としては、撤去は止むを得ないという方向が強く、濃淡で例えれば撤去の方向性が濃いのではないかと感じているところ。
- ・それが 100%であると自信を持って言えるわけではないが、今後3回、4回とお集まりいただいても同じような状況で推移するだけではないかと考えている。
- ・この場で、ご同意をいただけるのであれば、東山横断歩道橋については、撤去の方向性で前に進めさせていただくということをご了承いただくことは可能か。
- ・それは困るということであれば、行政として撤去を進めることは難しい。
- ・平岸四区あゆみ町内会は環状通で分断されており影響が大きく、一番その決断が難しいとは思っている。

(平岸四区あゆみ町内会)

- ・そういうわけではない。皆さんの意見が撤去の方向に向かうのであれば撤去の方向性で進めることは、決してやぶさかではない。

(建設局総務部道路管理課)

- ・皆さま撤去の方向性で進めることに同意をいただけるという認識でよろしいか。

(全会一致)

- ・異議なし

(平岸四区あゆみ町内会)

- ・撤去の工事等については、いつ撤去するのかなど事前に情報提供いただきたい。

(道路管理課)

- ・撤去が具体的になれば、事前に周知等丁寧に行っていく。

4 協議会の方針と今後の流れについて (資料2)

(建設局総務部道路管理課)

- ・概ねのスケジュールについては、最短で令和7年度4月以降に調査を行い、令和8年度の夏頃から撤去工事となる。

- ・今回協議会の場でご意見いただいた信号の制御や、撤去後の交通安全対策等については並行して検討を進めていきたい。
- ・撤去前、撤去後の状況を確認しつつ、例えば札幌市で防護柵を設置する、警察で信号の制御について現地の状況確認や検討を進めて行くので、段階毎にご要望やご意見があればこの協議会のメンバーや事務局である道路管理課にご意見をいただければと思う。ご協力をよろしくお願いしたい。

5 閉会

(建設局総務部道路管理課)

- ・撤去の方向性で進めさせていただく。
- ・今後、調査や工事を進めて行くことになるが、その都度、情報提供や事前に周知をさせていただく。